



▲熊本大学政策創造研究教育センターの畑中寛氏(写真右)をコーディネーターに、活発な意見交換が行われたパネルディスカッション

まちづくりのあり方を探る 2/24 本渡
～本渡まちづくり発表会～

本渡まちづくり協議会主催の「まちづくり発表会」が2月24日、天草市民センターで開かれました。同発表会では、亀場・宮地岳・志柿地区振興会が、あいさつ運動や土着菌づくりなど独自の活動事例を発表した後、「市民活動から始まる魅力あるまちづくり」をテーマにパネルディスカッションを実施。まちづくりの課題や解決策、地域の特性を生かしたまちづくりのあり方などについて意見交換され、約200人の参加者は熱心に聞き入っていました。



▲地元特産品を使った試作品を味見する参加者

五和のうまかもんはどうでしょう？ 2/26 五和
～うまかもんづくり試作品試食会～

2月26日、総合交流ターミナル施設ユメールで「うまかもんづくり試作品試食会」が開催されました。この「うまかもんづくり」は、五和地域の5地区振興会の加工グループなどが地域独自の商品を開発しようと、昨年7月から取り組んでいるもの。「ごぼうチップ」や「かじめの佃煮」など地域の特産品を使った試作品17点が出品され、参加者は真剣に味見をしていました。今回の試食会の結果を踏まえ、引き続き商品化に向けた取り組みが実施されます。



▲パネルディスカッションのようす

将来の地域づくりを考える 2/17 天草
～天草町まちづくり発表会～

地域課題の再認識と10年後を見据えた地域づくりをテーマに、天草まちづくり協議会（濱崎一芳会長）が主催する「まちづくり発表会」が2月17日、高浜公民館で開催されました。町内5地区の代表者が地域の課題や今後の目標について発表したほか、パネルディスカッションでは各地区振興会長が地域資源の発見や人づくりについて意見交換。参加した振興会役員や住民約160人は、今後の地域づくり活動に生かそうと熱心に耳を傾けていました。



▲肩をたたきながら楽しそうに語らうおばあちゃんと子どもたち

おばあちゃんとひな祭り 3/1 牛深
～船津サロン「憩い」でお年寄り子どもたちが交流～

桃の節句を間近に控えた3月1日、牛深町の船津サロン「憩い」で船津地区のおばあちゃんと子どもたちがいっしょに『ひな祭り』を行いました。このサロンは旧医院の診療室を改装したもので、お年寄りの憩いの場となっています。この日のために、おばあちゃんたちは手作りひな飾りを製作。集まった子どもたちは、おばあちゃんに肩もみをしたり、いっしょに輪投げをしたりして、楽しいひとときを過ごしました。



▲(社)「小さな親切」運動熊本県本部の河口和幸・代表から賞状を手渡される生徒

地域住民との清掃活動が高評価 2/18 有明
～有明中が「小さな親切」実行章を受章～

有明中学校（中上徹校長・全校生徒152人）が、「小さな親切」運動の実行章を受章し、2月18日、(社)「小さな親切」運動熊本県本部から賞状などが贈られました。この章は、同運動の取り組みの一つとして、環境美化や社会奉仕など、地域で親切な活動をした個人や団体などに贈られるものです。同校は、昨年4月から学校版ISOの取り組みを行っており、全校生徒が地域住民といっしょに行った年4回の四郎ヶ浜ビーチの清掃活動などが高く評価されました。



▲初めて実現した天草西高太鼓と必由館高校と太鼓部の共演

太鼓のリズムとハイヤの舞が西海岸を彩る 3/2 天草
～あったか天草椿まつり～

約2万本のヤブツバキが自生する西平椿公園で3月2日、第17回あったか天草椿まつりが開催されました。この催しは、地元の有志でつくる同まつり実行委員会（野田昭市会長）が、地域の資源を生かして地元を盛り上げようと毎年実施しているもの。天草西高太鼓をはじめとする太鼓団体の演奏や苓明高校郷土芸能部の天草ハイヤ踊りのほか、ツバキ油搾りの実演やバザーなどもあり、絶好の花見日和の中、約2,000人がイベントを満喫しました。



▲夢中でボールを追いかける参加者の皆さん

ミニバレーで交流を深める 2/20 御所浦
～親睦ミニバレーボール大会～

2月20日、第2回親睦ミニバレーボール大会が御所浦中学校体育館で開催されました。この大会は、地域の活性化と地域住民の親睦を図ろうと、御所浦まちづくり協議会が実施しているものです。当日は、各地区振興会や事業所、いとこ会など、20チーム・約120人が参加。夢中でボールを追いかけるなど懸命にプレーしながら、交流を深めていました。なお、優勝は、見事なチームワークで接戦を制した南地区（元浦・大浦）のオリオンチームでした。